



いつもJA津安芸をご利用頂きありがとうございます。
JA津安芸管内の農業情報や農業を営む担い手の皆様に
少しでも役に立つ情報をお届けさせていただきます。

春先からうどんこ病に注意！

うどん粉をまぶしたような白色の斑点が出る！

うどんこ病は、カビが原因で葉の表面や茎にうどん粉をまぶしたような白色の斑点が出ます。胞子が風などによって運ばれたり、灌水時の泥の跳ね返りで菌が株に付着することが発生の原因となります。冷涼で乾燥した気候が続くと発生しやすくなります。発生時期は4月～10月で発病適温は15～28℃です。ウリ科(キュウリ、カボチャ、メロンなど)、イチゴ、トマト、ナスなどで発生しやすく、始めは葉の裏面に白い斑点が現れて、症状が進むにつれて葉全体に広がっていき、茎にも蔓延していきます。果実やへたの部分にも発生します。うどんこ病をそのまま放っておくと、葉の光合成が妨げられ、株を弱らせてしまいます。

うどんこ病の対策

【予防】

- ・老化した葉が伝染源となるので、老葉を取り除いて通風を良くする。
- ・子葉や下位葉の裏面から発生し始めるので、葉の裏面をよく観察して初発時に速やかに薬剤散布をできるようにする！
- ・マルチを張るなど、灌水時の泥の跳ね返りを防ぐ！
- ・乾燥すると発生しやすくなるので適量の水を散布する！

【発病した場合】

- ・症状が軽いときは、発病した葉を早急に取り除き、周辺の葉や雑草も除去する。薬剤を散布するときは葉の表裏に丁寧に散布する。
- ・株全体に広がってしまっている場合は治療剤を使用するか農薬を使用しない場合は株を取り除き広がるのを防ぐ。



うどんこ病(カボチャの葉)

うどんこ病有効薬剤

ショウチノスケフロアブル

- ・予防に治療！
- ・残効性に優れる！
- ・うどんこ病に高い効果！
- ・新規有効成分！



モレスタン水和剤

- ・治療剤
- ・初発時に！
- ・うどんこ病に高い効果！
- ・益虫に悪影響が少ない！

